

# 学習指導案

西東京市立碧山小学校 中島 武史

1. 教科・学年 : 国語科 第6学年

2. 単元名 : 本は友達

## 3. 単元の目標

<教科の目標>

自分はどのような本を読みたいか考えたり、友達の要望に積極的にこたえたりする姿勢をもち、読書発表会をすることができる。

<メディアリテラシーの目標>

ラジオとテレビを比較し、音声だけで伝える工夫について考えることができる。  
番組作りには制作者の意図があり、その意図を効果的に伝えるために編集されていることに気がつく。

## 4. 単元の評価基準

【国語への関心・意欲・態度】

さまざまなジャンルの本に関心をもち、読書への意欲をもとうとしている。

【話す・聞く能力】

クラスの友達に薦めたい本の魅力を紹介のしかたを工夫して発表している。

【書く能力】

聞き手を意識しながら番組台本を書いている。

【読む能力】

筆者の心の動きと場面の情景を叙述に即して読んでいる。

【言語についての知識・理解・技能】

比喩的な表現に注目して、その効果を味わっている。

## 5. 単元について

概要

高度情報通信社会の中に生きる子供たちにとって、様々なメディアの特性を理解し、情報を読み解いていく力は重要である。世界中の情報が24時間リアルタイムで流され、インターネットでは誰でもが気軽に動画を配信できるようになっている。

インターネットでは、その内容の信憑性に疑問を持つ物も少なくないが、放送事業は免許の必要な認可事業である。それ故、他のメディアと比較すると、責任が重く、

信頼性も問われている。しかしながら、その番組の作り方や、報道の仕方によっては受け手によって様々な受け止め方をされてしまう。

本單元では、代表的なマスメディアであるラジオ放送とテレビ放送を比較し、ラジオ放送の特性を生かし、お薦めの本の紹介番組を作る。伝える側の意図やねらいに沿って番組が作られていることを体感させたい。

今回は地元 FM 局の方に話を聞くことも計画に入れている。

#### 音声で伝えることについて

本は挿絵もあるが、頭の中でイメージを広げながら読んでいくものである。本を音読することだけではなく、自分のイメージや感じたこと、読み取ったことを再構成して言葉として表出させていきたい。単に音読をするだけでなく、書評も交えて言葉にこだわってイメージを広げさせたい。

さらに、BGM の効果にも着目させていきたい。同じ内容のナレーションでも BGM によって受け止め方が違うこと気づかせるようにしたい。

#### ラジオとテレビの違い

子供たちはテレビにはなじみが深いがラジオを自分で聴いている子供はごくわずかである。子供たちがラジオを耳にするのは、自家用車の中や、理髪店である。

ラジオの魅力は、テレビと比べてパーソナリティとリスナーの距離が非常に近い関係にある。それは葉書を取り上げたり、語り口調も話しかけられたりしているような感覚だからである。また、車の中で聞けることに代表されるように何かをしながら聞くことができることも魅力の1つである。

番組を作成するに当たっては以下のような点に注意をさせたい。

テレビ...映像に言葉をつけていく。余分な言葉、映像からわかることを除いていく。

ラジオ...音声で説明していく。必要な言葉を付け足していく。音で場面をイメージさせる。音で状況を想像させるメディアである。

## 6. 指導計画（12時間扱い）

	時	学習のねらい ・主な活動	・指導上の留意点および工夫 評価
第一次 学習の見通しをもつ	1	<p>「森へ」「本は友達」を通読し学習のめあてと見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの読書経験を振り返り本単元でのめあてを知る</li> <li>・「森へ」を全文通読し感想交流をする。</li> </ul>	<p>これまでの読書経験について進んで話したり、全文を読みその感想や印象を話したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の良さを味わいながら、「森へ」を読む。</li> <li>・感想や印象を自由に発表させる。文字からイメージをふくらませることが苦手な児童は写真からイメージを広げさせる。</li> </ul>
	2	<p>いろいろな感覚を働かせてどんな様子なのかを想像して読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな様子なのか話し合う。</li> <li>・話し合って感じたことをワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五感を働かせている言葉を手がかりに読み進めるようにさせる。</li> <li>・イメージをしやすいように場面毎に写真を用意する。</li> </ul> <p>筆者の心のうごきや森の様子について、叙述をもとに、表現の工夫に着目しながら読んでいる。</p>
	3	<p>効果的な表現を探して味わい、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の心の動きを想像する。</li> <li>・発表して感じたことをワークシートにまとめる。</li> </ul>	<p>工夫された表現から、森の様子を自分なりに想像したことを発表しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書に、筆者が出会った順に整理をしていく。</li> <li>・自分が気がつかなかった表現のよさに友達の発表から得られるようにする。</li> </ul>

	時	学習のねらい ・主な活動	・指導上の留意点および工夫 評価
第二次 読書発表会作りの準備をする	4	自分はどのような本を読みたいかを考えたり、友達の要望に積極的に	自分が読みたい本の要望を、書くことができる。
	5	答えたりする姿勢をもち、読書発表会のための準備をする。 読みたい本の要望を出し合う。 要望カードに沿って紹介したい本をあげジャンル別に分担する。 ジャンルごとにグループを作り、紹介する本を集める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくする話</li> <li>・素的な絵本</li> <li>・海外のファンタジー</li> <li>・日本のファンタジー</li> <li>・怖い本</li> <li>・ノンフィクション</li> <li>・生き方を考える</li> <li>・知識が増える</li> </ul>	友達の要望に応え、さらに自分が薦めたい理由をはっきりとさせて、本を選ぶことができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館司書に相談をして、図書の準備をしておく。</li> <li>・グループ作りの際は教師が助言するようにして、人数や能力、人間関係のバランスに配慮する。</li> </ul>
	6本時	テレビとラジオを比較し音声だけで伝える工夫について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ番組とテレビ番組を聞き比べて表現の違いや工夫について考える。</li> <li>・BGMの役割について考える。</li> <li>・地元ラジオ局の方に番組作りで気をつけていることを聞く。</li> <li>・考えた工夫をもとに台本作りを行う。</li> </ul>	ラジオとテレビの番組作りの違いをはっきりさせ、その特性を理解し番組作りに生かす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ局の方と打ち合わせをしておき、実際の現場での注意点を話してもらう。</li> <li>・ラジオ番組とテレビ番組を記録しておき、視聴しながら比較をする。</li> <li>・ワークシートを用意して、番組の台本を書く。</li> </ul>

	時	学習のねらい ・主な活動	・指導上の留意点および工夫 評価
	7	ラジオの特性を生かしながら、自分が紹介したい本の番組台本を書く。	ラジオの特性を生かした台本作りを書くことができたか。
	8	・一人一人が台本を仕上げる。	・ワークシートを用意し書き込めるようにしておく。
	9	一人一人の台本をもとにグループで台本をラジオ番組に仕上げる。	台本をもとにキューシートをつくり、番組として仕上げるのができたか。
	10	・キューシートをもとに番組を進行させる。何度かリハーサルをしてグループ毎に録音をする。出来上がった番組を聞き直し、よりわかりやすくするために修正をする。 ・グループで話し合い改善点を出し合うようにする。	ラジオの特性を生かした番組になっているかを視点に見直すことができたか。 ・修正箇所は再度録音をし直すように機材を用意し編集の仕方を教える。
第3次 発表会をする	11	お互いの番組を聴き感想交流をする。 ・番組を聴いてその本の内容や良さをイメージする。	友達の紹介した番組に感想をもつことができたか。 友達の番組のよい点を見つけることができたか。 ・番組は録音しておきそれぞれが好きな番組を自由に聴けるようにしておく。 ・番組毎に感想カードを書き渡す。
	12	学習のまとめをする。 ・感想を発表し合い、自分の読みたい本をみつけ読む。	自分の読みたい本を見つけ読むことができたか。

## 7. 本時の展開

### (1) 本時のめあて

ラジオとテレビを比較し、音声だけで伝える工夫について考えることができる。

番組作りには制作者の意図があり、その意図を効果的に伝えるために編集されていることに気がつく。

### (2) 本時の展開 (6 / 12)

時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
5分	<p>1 お薦めの本を紹介するラジオ番組を作るために必要なことを考える。</p>	<p>・めあてを提示する。</p>	
	<p>ラジオとテレビを比較し、音声で伝える工夫について考えよう 「お薦めしてくれた本についてラジオ番組で紹介しましょう」</p>		
	<p>T: 今日の授業は、友だちが薦めてくれた本をラジオ番組にして紹介します。</p> <p>T: まずラジオとテレビを比べてみます。ラジオにはどんな特徴があるかを皆が理解したうえでラジオ番組をつくります。</p> <p>T: ラジオを聞いたことがありますか？それはどこでどのような時に聞きましたか？</p> <p>C: 好きなアイドルの番組を聞いている。 C: 車の中で聞きました。 C: キャンプで聞いている。 C: お母さんが料理をしながら聞いている。</p>	<p>ラジオはどんな時にどんな場所で聞いたことがあるか想起させ話し合わせる。</p> <p>ラジオは何かしながら聞くことができる。という聞き方のちがいにもふれるようにする。</p> <p>・何かしながら聞くことができる。 ・ラジオを持って行けば場所を選ばず聞くことができる。</p>	<p>ラジオは、音声だけで伝えなくてはならない点に気づくことができる。</p>

時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
25分	<p><b>2 ラジオとテレビのそれぞれの番組を視聴してその違いを考える。</b></p> <p>・ラジオとテレビの違いをワークシート1に記入し、発表をする。</p> <p>T:ラジオとテレビのコマーシャルを聞いてもらいます。気がついたことをメモをしながら聞き、発表をしましょう。</p> <p><b>聞き比べる</b></p> <p>&lt;ラジオのCMを流す&gt;</p> <p>T:どんな内容でしたか。</p> <p>C:心をこめて挨拶をすれば大きな差になる。</p> <p>C:タレントの仕事もスタンドの仕事も心をこめることが大切。</p> <p>&lt;ラジオと同じ内容のテレビCMを流す&gt;</p> <p>T:テレビのCMはどんな内容でしたか。</p> <p>C:ラジオと同じだけど、テレビはラジオのように詳しくない。</p>	<p>企業のWebサイトで、ラジオとテレビで放送しているコマーシャルを掲載しているところを利用するとよい。今回は石油会社のサイトを利用した。</p> <p>子どもたちに気がついたことを自由に話させる。</p>	<p>ラジオとテレビのちがいにについて気がつきワークシートに書くことができる。</p>

時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
	<p><b>意図を読み取る</b></p> <p>T : 二つのCMは誰に何を一番伝えたいと思いますか。</p> <p>C : これから来てくれるお客さんに笑顔でいっぱいにしてほしい。</p> <p>C : お客さんにたくさん来て欲しい。</p> <p><b>構成要素を比較する</b></p> <p>T : ラジオとテレビを比べてみます。ラジオは何でできていますか。</p> <p>C : 音、声、音楽</p> <p>T : テレビは何でできてきますか。音、声、音楽はラジオと同じですが、さらに別の要素が加わっていますね。</p> <p>C : 動画、映像、テロップ</p> <p><b>構成要素のちがいからどんな特徴があるのか考える</b></p> <p>T : 音声だけでできているラジオと、映像のついているテレビは、それぞれどのような特徴がありますか。</p> <p>C : テレビと比べてラジオは言葉が多い。</p> <p>C : ラジオは映像がないから詳しく言わないと伝わらない。</p> <p>&lt;ラジオとテレビのCMを文字に起こしたもの(参考資料1 参照)を配布&gt;</p> <p>T : どちらがラジオでどちらがテレビでしょうか。時間はそれぞれどのくらいでしょうか。</p>	<p>表面的な内容に目を向けがちである。</p> <p>何のために放送しているのか意図を読み取らせるために、“誰に” “誰が” という視点から考えさせる。</p> <p>あらかじめテレビとラジオのCMを文字に起こしておく。</p> <p>映像、音・ナレーション、BGMにわけ、表組みにしてまとめておいた。</p>	<p>番組には意図があることに気がつく。</p>



時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
10分	<p>C：下がラジオ。タレントの言葉の数が多いからです。</p> <p>T：テレビは30秒のCMです。ラジオはテレビの3倍で1分30秒です。ラジオがテレビと同じことを説明しようとするすると3倍かかります。言葉を上手に使うことがカギになりそうだね。</p> <p>T：ここで、FM局の方のお話を聞きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート2に記入する。</li> </ul> <p>放送局の方の話（参考資料2 参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介からはじめること。</li> <li>・言葉で、どのようになど具体的に表現すること。</li> <li>・1文を短くすること。</li> <li>・専門的な言葉、仲間言葉でなく誰にでも分かる言葉でつたえる。</li> <li>・放送には責任と意図があること。</li> </ul>	<p>放送局の方とあらかじめ打ち合わせをしておき、授業の意図を理解してもらい意図に沿って話をしてもらう。</p>	<p>音声だけで説明するには言葉を選んで上手に説明していくことが大切なことに気づく。</p> <p>聞いている人がイメージできるように、言葉で状況を説明することが大切であることに気がつく。</p> <p>自分達の作る番組構想を持つことができる。</p>

時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
5分	<p><b>3 授業を振り返る</b></p> <p>T:今日のめあては、「ラジオとテレビを比較し、音声で伝える工夫について考えよう」でした。めあてにそって授業を振り返りましょう。</p> <p>C:ラジオとテレビの表現を逆にしたら伝えたいことがわからなくなる。</p> <p>C:これまでCMは気にしてなかったけれど、よく聞くとこんな違いがあるんだと思った。</p> <p>T:皆のラジオ番組のヒントにしてほしいので、これを聞いて下さい。</p> <p>&lt;ラジオのCM:笑顔を添えているいらっしゃいませという声と、そうでないいらっしゃいませの声を聞かせ、伝わり方が違うということを語っているCM&gt;</p> <p>T:声で笑顔が表現できることを聞いておもしろいなと思いました。どうですか番組づくりをがんばれそうですか。</p> <p>では今日の授業を終わりにします。</p>		

## 8. ワークシート

### <ワークシート1>

6年国語上「本は友だち」 月 日

□ おすすめの本をラジオ番組で紹介しよう  
 6年組 番 氏 姓  
 □ ラジオとテレビの違いについて気がついたこと  
 構成要素について

ラジオ	テレビ
音声 ナレーション 現場の音 BGM ジングル	音声 ナレーション 現場の音 BGM ジングル 映像 静止画 動画 アニメーション テロップ

□ 気がついたこと

- ・ テレビは短い映像をたくさんつないでいろいろな笑顔を表現しているが、ラジオはナレーションで説明をしているから言葉が多い。
- ・ ラジオはタレントが自分の名前を言っている。
- ・ テレビはナレーションに合わせてテロップがある。
- ・ テレビはナレーションに合った映像がある。
- ・ テレビはコスモスナレーションのマークやロゴが映っていることが多い
- ・ タレントのナレーションの声の方がスタンドで録音した声より大きいから、スタンドの様子を見ながら説明している感じがする。
- ・ 同じ内容のコマーシャルだけれどもラジオの方が時間が長い。
- ・ ラジオはタレントの感想で笑顔の大切さを訴えている。
- ・ ラジオはwebで公開中とナレーションで説明しているが、テレビはアニメーションで表現している。

□ おすすめの本をラジオ番組で紹介しよう  
 6年組 番 氏 姓  
 □ ラジオとテレビの違いについて気がついたこと  
 構成要素について

<ワークシート 2>

6年国語上「本は友だち」 月 日

おすすめの本をラジオ番組で紹介しよう

ラジオ局の方の話を聞いて  
メモを取りながら聞きましょう。

6年組 番 氏名

6年国語上「本は友だち」 月 日

おすすめの本をラジオ番組で紹介しよう

ラジオ局の方の話を聞いて  
話し合ったことをまとめましょう。

番組づくりで気をつけること

番組の作り方

## 9. 板書・教室配置図

### < 板書 >

ラジオとテレビを比較し、どのように作られているか知り、  
音声で伝える工夫について考えよう。

<p>ラジオ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声</li> <li>・ BGM (シングル)</li> </ul>	<p>テレビ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声</li> <li>・ BGM (シングル)</li> <li>・ 動画</li> <li>・ 静止画</li> <li>・ テロップ</li> </ul>
---	--

ラジオはいつも音がでている。  
テレビは見えて分かるけれど、  
ラジオは想像しなくてはいけない。

BGMの効果  
かける音楽によって印象が変わる。  
**編集する側の意図がある。**

ラジオ同様の話を聞いてわかったこと  
表現の工夫  
「はっきりとした声でわかりやすく伝える。」  
「仲間言葉を使わない。」  
「相手に語りかけるように伝える。」  
「具体的に相手がイメージできるように表現を工夫して伝える。」

番組の作り方  
話の骨組みを作る。  
はなす順番に要点を並べる。  
骨組みに従って話す。

放送には責任と意図がある。

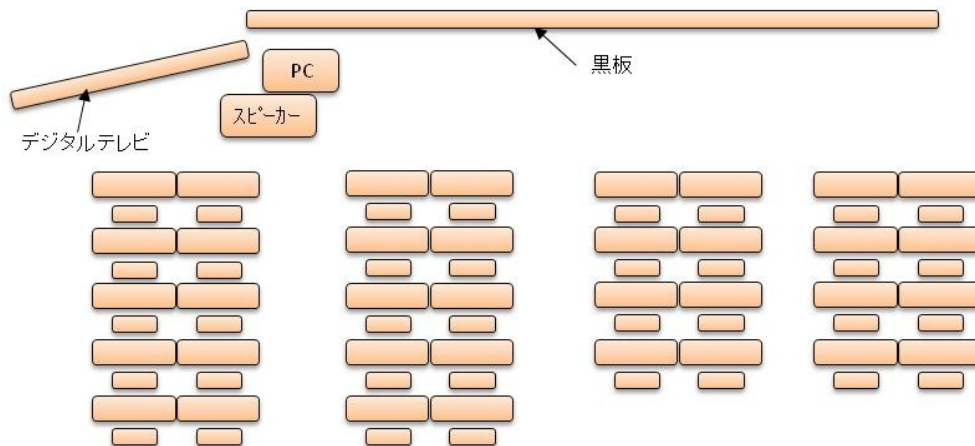
そのままのみにするのではなく、  
考えて聞くことが大切である。

おすすめの本をラジオ番組で紹介しよう

ラジオとテレビのちがいは何かしながら大きくすることができる

構成要素

### < 教室配置図 >



## < 参考資料 1 >

### テレビとラジオのCM内容の文字化

#### テレビ

映像	タレント正面 タレントおじぎ タレント掃除 タレント横顔 タレント走る タレント正面	テロップ	一日体験をして らる	ナレーション	笑顔も る	音楽	B G M
	空と屋根のロゴ 従業員の仕事姿 タレント正面 従業員挨拶 青空 △△△△検索のアニメ				また来たくなる、 そんな を自覚して		
					笑顔で に宣言 挨拶で		
					笑顔も る		

#### ラジオ

現場	いらっしやいませ	タレント	「一日体験をして 仕事は です。」	男性ナレーション	「私のお仕事も です。」	音楽	B G M
					「私のお仕事も です。」		
					「私のお仕事も です。」		
					「私のお仕事も です。」		

上記の図表は、企業名などにフィルターをかけています

## 授業で使ったラジオとテレビのCMの概要

ラジオとテレビで、同じテーマで作成されているCMを使用。

CMの概要：タレント[女]がガソリンスタンドで仕事を一日体験して、分かったこと、感じたことを伝えている。

ラジオとテレビでテーマも内容もほぼ同じだが、テレビでは、タレントや従業員の働く姿を映像で、ラジオでは、「いらっしやいませ」などのセリフや音をバックで流して表現している。また、テレビでは、テロップを使用している部分も、ラジオでは、タレントやナレーターのアナウンスで表現している。

音楽(BGM)は、企業のオリジナル曲で、曲をきいたら会社をイメージしてもらえるようにラジオとテレビで同じものを使用している。

## < 参考資料 2 >

### F M局の方のお話

F M西東京 チーフディレクター 大塚まこと

こんにちは、ぼくは、F M西東京でチーフディレクターとアナウンサーをしている大塚まことです。今日は、ラジオについてお話します。

ラジオとテレビの違い - ラジオは言葉で説明する -

皆さん、ラジオとテレビの違いは何かわかりますか。

ラジオ番組は、まず自己紹介から始まります。それは名前を言わないと、誰が話しているかわからないからです。それがテレビとラジオの違いです。また、たとえば「笑顔」を視聴者に伝えたい時、テレビは「笑顔」を映像で映せば言葉で説明する必要がありませんが、ラジオでは、たくさんの言葉を使って笑顔を説明します。

「言いたいことを伝えるため」に気をつけること

皆さんは、自分の言いたいことを人に伝える時、どんなことに気をつけますか。

ラジオでは、「ゆっくりわかりやすく話すこと」や、「皆にわかる言葉で話すこと」が必要です。その他にも「一つの文章は、なるべく短く話すこと」や、「聞き手をイメージして話すこと」、感想を話すときは「どう感じたのか具体的に説明すること」が必要です。

「心をこめて話すこと」や「一番伝えたいことは何かを考えて話す」ことも重要です。皆さんは「お薦めの本を紹介するラジオ番組」を作るそうですが、まず、何を一番伝えたいかを考え、たとえば「泣けるぐらい感動した本」ということを一番伝えたいならば、それを皆にわかってもらうことを目指して、どんなお話を説明するとよいでしょう。

放送局には責任がある

放送は誰でもできるわけではありません。テレビもラジオも、国から免許をもらって放送をしています。自動車免許をもらった人が、安全に運転をする責任があるように、放送局にも責任があります。放送はたくさんの方が聞いていますから、その人たちに役立つように、正確に情報を伝えなければいけません。また、放送が誰かを傷つけないように、注意する必要もあります。私たち放送局は、そのためにいろいろ準備をして放送をしています。

放送には制作者の意図がある

ラジオやテレビでは、いろんな人が考えて番組を作っています。でも、作られた番組はひとつの考え方です。世の中には、番組とは違う考え方を持っている人もいます。ですから、皆さんも番組を鵜呑みにしないで、自分はどう思うか考えながら、放送を聞いてほしいと思います。

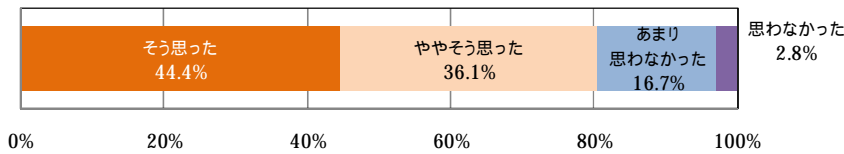


< 参考資料 3 >

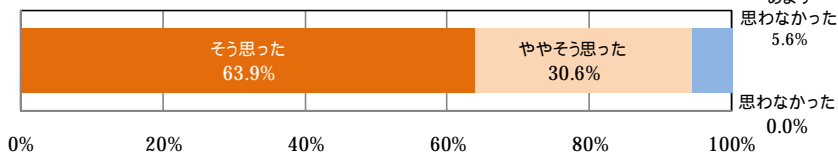
授業後に児童を対象として実施したアンケート結果

問 今日授業で、あなたが思ったことに つけて下さい。

図表 授業をおもしろそうと思ったか (n=36)



図表 授業をやったよかったと思ったか (n=36)



問 今日授業であなたが感じたことを自由に書いて下さい。

テレビのCMなんて意識してなかったけど、今日の授業に興味を持った。

今まで、CMとかは、興味がないから、とばしてたけど、今日の言合で気になった。

テレビとラジオは、マンガと本と似ていて、ラジオ(本)は映像がない分自分の頭の中で自由に想像できると思った。ラジオはあまりきかなくて、これからはずずずんできいてみようと思った。

テレビとラジオどちらも同じようなことを伝えることができるけど、表現のしかたが、ずいぶんちがうな'あと、思いました。